

# 学校給食費無償化について 本市の考えは

高松 幸雄 議員

中学校の無償化を6年度予算に計上した  
教育部長



▲中学校給食費無償化始まる

**問** 給食費は、全国年間平均で約5万円弱に及び、子育て世帯に大きな負担になる。学校給食費無償化を実現した場合、どのくらいの財源が必要か。

**答** 愛西市立の小・中学校の給食費の無償化を実施するには、小学校で約1億4828万円、中学校で約9789万円の合計約2億4617万円が必要。

**問** 学校給食費無償化について本市の考えは。

**答** 一般財源を活用した学校給食に対する支援をしている自治体が限られている中、愛西市立中学校に通う生徒に対して市単独事業として学校給食費を無償化するため、令和6年度当初予算に計上した。

## 学校体育館の空調設備を

**問** 令和5年12月議会の一般質問で永和中学校体育館を早期に改築、もしくは改修による老朽化対策に取り組む必要があるとの答弁があった。進捗状況は。

**答** 9月議会で、学校体育館への空調設備導入に向けた準備を進めていきたいとの答弁だったが、どのように考えているのか。

**答** 永和中学校の施設整備については雨漏りによる天井の剥落などの現状から体育館の躯体の調査を予定している。空調整備については、中学校の体育館の空調設備整備に向け、佐屋中学校、八開中学校、佐織中学校及び佐織西中学校の体育館アリーナのギャラリートエアコンを設置する。

永和中学校は6年度に躯体の調査を予定していることから、調査結果に応じた老朽化対策の実施に合わせて速やかに空調設備の整備を進めたい。

**問** 中学校の体育館だけに空調設備を整備することとした経緯は。大風量の強力スポットエアコンの設置とした理由は。

**答** 中学校では体育の授業や学校行事のほか、部活動でも使用するため、小学校と比較して多く利用され、熱中症対策が必要と判断して整備を計画した。空調設備については、県内外で整備されている手法を参考に空調効果、整備費用、整備期間などを総合的に勘案して選定した。

## その他の質問

● 学校規模適正化の進捗は